

母と子のにわ

Vol.16



INDEX

■地域医療連携室がオープンしました	岡本 伸彦	1
■子どもの白血病	井上 雅美	2
■仕事紹介4 薬剤師のお仕事	室井 政子	3
■母子医療センター魚図鑑		4
■がんばり屋さん	K. Iちゃん	5
■母子医療センターからのお知らせ		6

地域医療連携室がオープンしました

平成19年10月1日より、当センターに地域医療連携室がオープンしました。他の医療機関と密接な連携を図り、患者さんによりよい医療を提供できるように努力してまいりますので、ご支援よろしくお願い致します。

業務内容は、下記のとおりです。

(地域医療連携室長 岡本伸彦)

1. 初診予約受付・・・FAXによる初診予約を継続して行います。
紹介元医療機関への患者受診・未受診のお知らせも行います。
2. 他院の初診予約・・・当センターの患者さんで他院受診に際して初診予約が必要な場合の手続きを行います。
3. 紹介元医療機関へ医師の返事の発送を行います。
4. 大阪南医療センターとの医療連携を行います。
5. セカンドオピニオンに関する申し出や照会は、当室にご相談下さい。
6. 保険会社からの医師面談の受付も行います。

現代医療シリーズ

子どもの白血病

1. 白血病になぜなるの？

正常な血液細胞に何らかの誘因で特異的な遺伝子異常が生じると、細胞が異常に変化して無制限に増える性格を獲得し、白血病になると考えられています。白血病細胞に特異的な遺伝子異常が数多く同定され白血病発症のメカニズムが明らかにされつつあります。最近、このような遺伝子異常が白血病発症のずっと前から、その子どもがまだ母胎内にいるときから生じて

いることが分かってきました。

遺伝子異常の誘因は数多くあるので、予防することは容易ではありませんが、健康な赤ちゃんを出産するという観点から、妊娠中は喫煙や不必要な薬物摂取を避け、ウイルス感染に注意することを心がけるべきでしょう。

2. 子どもの白血病の特徴は？

成人の場合、慢性白血病の頻度が高いですが、子どもの白血病のほとんど(90%)

以上)が急性白血病です。急性白血病は急性リンパ性白血病と急性骨髄性白血病に大別され、白血病細胞の特徴により、さらに細かく分類されています。もっとも頻度の高い白血病は B 前駆細胞性急性リンパ性白血病で、子どもの白血病全体の半数以上を占めます。

3. 白血病の診断は？

白血病の子どもたちは、顔色が悪い、元気がない、長引く発熱、止まりにくい出血(鼻出血など)などの症状から診断に至ることが多く、診断のためには血液検査だけでなく、骨髄検査が必要になります。骨髄検査は腰の骨に針を刺して骨髄液を注射器で吸引採取する検査で、かなりの痛みを伴いますが、最近は静脈麻酔など十分な痛み対策が行われるようになりました。

4. 白血病の治療は？

白血病に対する治療は複数の抗がん剤を組み合わせで行われます。急性リンパ性白血病の場合、最初の数週間に行われる寛解導入療法により大部分の白血病細胞を駆逐し、その後も残存する白血病細胞に対して強化療法、抗がん剤が届きにくい部位である中枢神経系や精巣に逃げ込んだ白血病細胞に対する聖域療法が行われます。ここまでの治療は入院中に行われ、通常数ヵ月を要します。以後は外来で維持療法が行われ、診断から治療終了まで約2年間の治療が行われることになります。急性骨髄性白血病の場合は、一般的に1年以内の化学療法を入院中に終了します。

最近は遺伝子検査などを用いて、わずかに体内に残っている白血病細胞(微小残存白血病細胞)を検出する技術が進歩したため、定期的にこの検査を行い、治療効果が不十分な場合は、抗がん剤治療を強化、あるいは骨髄移植に代表される造血幹細胞移植を行うことを考慮します。

造血幹細胞移植は、移植前処置と呼ばれる大量抗がん剤投与や全身放射線照射により白血病細胞を駆逐し、健康な造血幹細胞を移植することで、血液を造る力(造血能)を再構築する治療です。最近はミニ移



植と呼ばれる副作用の少ない移植法が開発され、発育障害や不妊など晩期合併症を回避する移植法として期待されています。

5. 白血病は治るの？

抗がん剤治療の進歩や造血幹細胞移植の導入により、現在では子どもの白血病の8割が治る時代になりました。どのような特徴を持つ白血病が治りにくいかも明らかにされてきましたので、今後は治療法をさらに改良して白血病と診断された子どもたち全員が治るよう、また、白血病が治った後の晩期障害を残さない治療法を開発することが重要な課題です。

6. 病気の説明

白血病と闘うためには、ご両親のみならず本人にも、どんな病気かどのような治療が必要か、どれくらいの期間入院が必要かを説明して、本人が十分理解し納得した上で治療を受けることが大切です。子どもたちは年齢に応じた理解力があります。本人に病気のことを隠して治療を行う時代ではありません。

7. 白血病が治った後は？

白血病が治った後も、子どもたちとご家族は様々な不安を抱えておられます。再発は？身長伸びは？治療による副作用で心臓、肝臓、腎臓などに負担がかかっていないか？不妊症？二次癌は？当センターは長期フォローアップ病院として、治療が終わったあとも子どもたちとご家族を支援していく体制を整えています。

8. 白血病の子どもたちも社会の一員！

再び元の学校へ戻ること、そして友達と再会できることを目標に、白血病と診断された子どもたちは頑張って治療を受けています。周囲や学校が彼らを温かく受け入れることは、とても大切なことです。白血病と闘っている子どもたちを温かく受け入れて頂くことを心からお願い致します。
(血液腫瘍科主任部長 井上雅美)

知らないで損をする「血液難病のお話し」

無事終了しました。

多数のご参加ありがとうございました。

詳細は 6 ページをご覧ください。

薬剤師のお仕事



みんな、正しくお薬が飲めているかな

薬剤師のお兄さんやお姉さんはみんながきちんとお薬を飲んでくれているかどうか心配しているよ。

これから、薬剤師のお仕事についてお話するね。

みんなは病院に来たらまずお医者さんに診てもらおう

よね。時々、血やおしっここの検査やレントゲンの検査

をすることもああるかな。みんなの体や検査の様子を

診てお医者さんはお薬の「処方」をするんだよ。「処方

」というのは、病気を治したり良くしたりするための

お薬のメニューなんだ。薬剤師はこのメニューに書

かれた内容とみんなの年齢や身長・体重とをチェック

して、それから粉のお薬を混ぜて1回分ずつ機械

で分けたり、シロップを量ってピンに入れて渡してい

るんだよ。でも、子供用に粉のお薬があまりないの

で、粒のお薬をすりつぶして粉のお薬を作っている

んだ。他に丸い粒のお薬や長細いカプセル、おしり

から入れる坐薬や塗り薬、目薬を渡すこともあるか

な。注射するお薬もたくさん用意しているよ。(あ

んまり好きな子供はいないよね)

飲んだお薬はどうなるんだろう

みんながお口から飲んだお薬はまず食道を通っ

て胃を通してそれから小腸へ行くんだ。この小腸

というところで吸収されたあと門脈を通して肝臓

に行くんだよ。ここでいろんな形に変えられて血に乗って全身に到着するんだ。それから、病気を治し

たり良くしたりしたあと、また血に乗っておしっこや

ウンチの中に入ってトイレでバイバイするんだよ。

この全身に到着する時の血の中にみんなが飲んだお

薬がどのくらいの量あるかを調べたりするお仕事

もしているんだよ。

それから、お薬の会社が作っていないような注射

するお薬や水薬を作って滅菌(バイ菌をいなくす

る)したり、塗り薬をネリネリしたりしているよ。

それからね、入院している大人や子供のベッドの

横に行って、飲んでいるお薬について話をしたり

することもああるよ。

みんな、お薬が飲み

にくい時は薬剤師の

お兄さんやお姉さん

に相談してね。

薬剤師になるにはどうしたらいいんだろう

高校を卒業したあと、薬学という大学に6年間行く

んだ。大学生の時に病院や町の薬局でお勉強をし

て、卒業してから「国家試験」を受けるんだよ。「国家

試験」に受かったら薬剤師として病院や町の薬局や

お薬の会社などで働けるんだよ。お薬に興味のあ

る子は薬剤師になってね。(薬局長室井政子)



母子医療センター魚図鑑

イエローストライプシクリッド

基本の色はクリームイエロー。2本のはっきりした黒いバンドがきれいな魚です。成長すると10cmくらいになるよ。



コバルトブルーシクリッド

きれいなブルーの色が人気の魚です。成長すると12cmくらいになるよ。



レッドゼブラ

こいオレンジの色の体の魚です。成長すると12cmくらいになるよ。



オレンジピーコック

成長するにつれて体の色がきれいなオレンジ色に変わっていくよ。



カエルレウス

全身がレモンイエローで、背・尾びれに黒いラインが入る人気の魚です。成長すると8cmくらいになるよ。



セルフインプレコ

いつも水槽のそうじ係りとしてがんばってくれています。大きく広がった背びれはかなりカッコいい！



母子医療センターにいる魚は、アフリカンシクリッドという種類の魚たちです。アフリカンシクリッドというように、アフリカにあるマラウイ湖、タンガニカ湖という湖に住んでいる魚です。アフリカンシクリッドの1番の特ちょうは色で、あざやかな青や黄色の色は、海にいる魚と見違えるほどきれいです。

シクリッドとは、簡単に言うと、ちょっと気が荒い小型から中型の魚で、海にいるスズキから進化した魚たちです。縄張りを争うことがあるので、岩などを入れて縄張りを作る場所を多めに作ってあげると喜びます。また、シクリッドはたくさんえさを食べます。何でも食べますが、母子医療センターでは、フレーク状のえさをあげています。えさをあげようとすると、上の方へよって来ますよ。

また、いろいろ観察してみてくださいね。

この水槽は、国際ソロプチミスト大阪-いづみより寄贈して頂いたものです。

がんばり屋さん

K. Iちゃん

この病院をあまりご存知でない一般の方は、車椅子を使って生活している人に対して、どのようなイメージを持っているのでしょうか？皆と一緒に走れない。泳げない。遊べない。とてもしんどそう。かわいそう。何もできない。こういう風に思っている方もいるのではないのでしょうか。皆と一緒にだよ。ちょっと不便なだけ。眼鏡をかける様に、靴をはく様に、車椅子を利用して生活している女の子だよ。

1カ月健診での心臓疾患の発見をスタートラインとして、わが子和美のフツーとちょっと違う子育て。いえ、和美の親育てが始まりました。3階西棟のスタッフの方々や先輩ママの励ましで、現実と向かい合って、私も前を向いて歩み始めました。



まず、2人の上の子とと同じ様におけいこ事をさせたいと、酸素ポンペを抱えての幼児教室通い。指導の先生が驚かないふりをして下さったので、外に連れて出る自信となりました。在宅酸素療法が終了してからは水泳を始め、小学校に入学してからは、車椅子テニス、バスケットボール、ランニング、ハンドボールとみごとな『熱血！体育会系少女』が出来上がりました。でも、どれも私が見つけたスポーツばかりです。しかし、車椅子ダンスだけは自分から引き寄せてきた新たな挑戦です。

ある時、和美は地元の体育館に上の子と2人でお散歩に行きました。そこで車椅子に乗った方と健常者の方が、互いの手を取り合い軽やかに踊る様子をまばたきもせずに見ていた和美に、先生が声をかけてくださいました。「私もすぐに踊りたい！」と、いつもになくだだをこねていたそうです。こうして和美と私は、『和泉ウィルチェアダンスクラブ』に参加することにしました。構成メンバーは大人ばかり。子どもは小学生が1人だけ。なんと私も和美も地域の大人の障害者の方と接するのは、これが初めてだったのです。

日頃のリハビリや生活の現場で、自分の筋肉を意識することがあたりまえの和美にとって、背中



の筋肉の力を用いて、スタンディングさん（健常者）に自分の移動の意志を、つないだ手を通して伝えるなんてことは朝飯前のことでした。私はいまだに上手に出来なくて、和美に笑われています。ダンスでは子どもの足を引っ張っておりますが、大人の方と練習することで、あいさつの大切さを学び、何回もステージを経験することで「練習はうそをつかない」のこたばを体感し、責任感、自己表現力、より繊細な車椅子の操作方法などを身につけ始めました。どれも今までの生活の延長線上にはないものです。

もっと大きなことも体験できました。老人ホームのお年寄りに、車椅子ダンスを通じて、元気と生きるパワーをおすそ分けするボランティアに行くことが出来ました。このダンスクラブは単に踊ることを楽しむだけではありません。比較的同じ地域に住む障害者同士が手をつなぎ、その地域に啓発活動も行っています。その際のご支援のお金がこのダンスクラブの運営資金の一部となっています。



もう少し和美が成長すれば、自助努力ということも体感できることでしょうか。和美が一

生懸命にいろいろなことにチャレンジすることが、他の人に生きる勇気に気づかせ、世の中の見えないことが見えてくるきっかけになればいいと思います。そして、本人には障害に甘えることなく生活し、納税者となれば最高と考えています。

戸惑っているお母さん、まず一歩だけ歩みましょう。きっとわが子が応援してくれるから。気がついたら、わが子が手をひいてくれますよ。

文：K. Iちゃんのお母様

センターからのお知らせ

「検査の受付時間の変更について」

11月1日（木）から臨床検査と生理検査の受付が8時45分からとなりました。

受付終了は今まで通り15時30分です。

また、総合受付カウンターにおける初診予約のある患者さんの受付も午後8時45分からは行いません。

それ以外の業務に関しましては、今まで通り9時からとなりますのでお間違えのない様をお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

EVENT GUIDE



母子医療センター

クリスマス会のお知らせ

今年のクリスマス会は

と き：12月14日（金）

午後3時から

ところ：1階アトリウム

に決まりました。

アンパンマンショー・手品・コンサートと盛りだくさん。

今年もドナルドがやって来ます。

お楽しみに！

府民公開講座の参加申込は、
11月16日（金）まで1階総合受付にて受け付けています。
皆さまのご参加をお待ちしております。

大阪府立母子保健総合医療センター府民公開講座

母と子の明日に向けて

第3回光明池セミナー

母子医療センターでは羽曳野養護学校との共催で公開講座を開催します。

知らないと損をする「血液難病のお話し」

2007.11.17(土) 14:00~17:00

大阪府立母子保健総合医療センター研究所大会議室
東北高速鉄道「光明池」下車徒歩5分

参加費無料

プログラム 無事終了しました。
多数のご参加ありがとうございました。

- あなたと子どもの未来について 澤田 明久
- 子どもの血液病について 山田 陽代
- 最近の骨髄移植・臍帯血移植の進歩について 井上 雅美
- 骨髄移植を受けた子どものこころのリハビリ 山本 悦代
- 子ども・親のわがごとともに—母子分教室から 山田 陽代

申込方法

住所・氏名・電話番号・参加人数を書いて、ハガキまたはFAXでお申込下さい。

宛 先 〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840
大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査室宛
FAX：0725-56-5682

定 員 100名（申込者多数の場合は抽選とさせていただきます。）

申込締切 平成19年11月9日（金）必着

■お問合せ先：地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査室
〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840
■TEL：0725-56-1220 FAX：0725-56-5682
■E-mail：kikakusi@mch.pref.osaka.jp

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい。

基本理念

- 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
- 地域の保健医療機関と連携して、母子保健医療を推進します。
- 患者さん中心の、相互信頼の立場に立った、質の高い医療を行います。
- 母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます。



編集・発行

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立母子保健総合医療センター

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840

TEL：0725-56-1220 FAX：0725-56-5682 ホームページ：http://www.mch.pref.osaka.jp